

障害者雇用に役立つケースステップ（K-STEP）

1.概要

インタビュー

みずほビジネスチャレンジド株式会社センター長 安本道彦様

当センターでは開設後1年半が経過しておりますが、離職者は80名の社員に対してたった2名のみ、という状況となっております。

弊社では、K-STEPが社員定着に相当の効果があるのではないかと認識から、これを全拠点に展開していくことを経営判断し、昨年の10月から町田本社、大手町、内幸町、呉服橋の全拠点で順次スタートしております。

そもそも人は、誰かに支えてもらいみてもらっているということが仕事を継続していく上で極めて大切なことであり、そういったことをこの簡潔な手法で実現できるのではないかと考え、このシートを使っていただくことにいたしました。

ほぼ全て社員がこのシートを活用するという中で、今後も試行錯誤を繰り返しながら、更によい使い方を研究し、社員定着に役立てていきたいと考えております。

2018年4月より障がい者雇用義務の対象に精神障がい者が加わりました。しかし精神障がい者の雇用は難しいという声もあります。

なぜ精神障がい者の雇用は難しいのでしょうか？

図「精神障がいの共通する特徴」

精神障がい者は一般的に緊張や不安が強く疲れやすい傾向にあります。

気力、体力を電池の残量に例えると、精神障がい者は疲れやすいため1日の電池の減りが速い傾向にあります。

また同じ診断名であっても人によって症状の出方や必要な配慮が違うことから、自己理解や周囲の理解が進みづらいことも特徴に挙げられます。

図「障害者の障害種類別職場定着率」

これは障がい別で見た職場定着率です。他の障がいに比べて、職場定着率が低いことが分かります。

2017年のJEED（高齢・障害・求職者雇用支援機構）による「障害者の就業状況に関する調査研究」では、就職後1年の障害種類別職場定着率は、発達障がいは71.5パーセント、知的障がいは68パーセント、身体障がいは60.8パーセントに対し、精神障がいは49.3パーセントとなっております。

精神障がい者の職場定着はどのように進めていけば良いのでしょうか？

川崎市では、「ケースステップ (K-STEP)」という取り組みを実施しています。

ケースステップ川崎就労定着プログラムとは、就労定着を図るためのプログラムです。セルフケアシートに今の状態を記入し、毎日上司へシート内容を報告します。企業はその日の状態を把握し、職場定着に向けたラインケアにつなげます。

現在、都内でケースステップを使用している株式会社ドムさんの担当者にお話を伺いました。こちらでは人材紹介事業を行っており、事務サポート部には数名の精神障がい者が働いています。

インタビュー

株式会社ドム 松村一司様

仕事終わりに業務報告ということで皆さんの話を聞いていたのですが、その時にその方から話を聞いて、初めてその人が今日一日体調が思わしくなかったということ、遭遇する機会があったので、ケースステップの情報共有ツールとしてのセルフケアシートというものが良いきっかけになるのではないかと、非常に導入した動機としては強かったと思います。

朝、話をすることによって、その日一日を通して話しやすいとか話しかけられやすい状況をまず雰囲気として作ることができるというところが、非常にケースステップを始めて良かったなと思います。話しやすくなる環境を作るところにもつながるかと思うのですが、何かあったらまず言ってくれる、それはお互いの信頼関係になっていると思うので、こちら側から、見るからにちょっと体調が悪そうな方というのは別ですけれども、そこまでアンテナを常に張り続ける必要は無いのかなと感じる部分であります。注意、関心を持たなくてはいけない人に、その分の力を集中的に注ぐことができるのかなと、そうすることによってその方も立ち直りが早いと言いますか、リハビリしていただいて、仕事に復帰していただけるといった相乗効果が、ケースステップの機会に働いているのではないかと、いう風に思います。

実際に使用している方にもお話を伺いました。

インタビュー

株式会社ドム ケースステップ利用者さん1

報告することで毎朝上司とコミュニケーションが取れる、その話題は自分で考えなくて、いつも同じ安定した話題で話すことができるので、上司と負担なくコミュニケーションが取れるというのが良い点だなと思います。

セルフケアシートを記入するまでは、自分の睡眠がどの程度バランスが保たれているのかを、自分の体感で、ざっくりとしたデータでしか把握していなかったとセルフケアシートを導入して発見しました。

私の性格からすると、悪い時の印象の方が強く残ってしまうみたいで、セルフケアシートに記入していたら1ヵ月に1、2回ぐらいしか睡眠が乱れていなかったという事実がわかり、私の中ではもっと乱れているイメージがあったのですけれども、実際にそうやって数値で振り返ることで自分の睡眠は思っていたよりも安定しているのだな、じゃあもうちょっと改善できるようにすごく前向きな気持ちと、事実確認をすることで新しい発見がありました。

株式会社ドム ケースステップ利用者さん2

自分の体力やメンタルの状態を上司である松村さんに報告することによって、自分の今の状態を知っていただけることと、上司と円滑にコミュニケーションが取れるところです。

ケースステップは上司とのコミュニケーションツールであり、新たな気づきを得るきっかけとなります。

図「留意点① 本人の同意を得てから始める」

ケースステップを使用する場合は本人の同意を得てから始めてください。

個人情報の取り扱いについては、厚生労働省のホームページから「雇用管理分野における個人情報保護に関するガイドライン」、川崎市のホームページから「個人情報に関する注意事項について」をご覧ください。

図「留意点② ケースステップは治療を目的としたものではありません

ケースステップは治療を目的としたものではありません。

主治医が治療方針に反する、または良くない影響があると判断し使用の中止を助言された場合は従ってください。

図「留意点③ 社会資源を活用しましょう」

本人の環境を把握することも重要です。

医療機関では薬の処方、診察、心理テスト、カウンセリング、作業療法などが受けられます。就労移行支援事業所、障がい者就業・生活支援センター、就労援助センターなどの就労支援機関は雇用に関する相談先として利用できます。各市町村の福祉サービスでは生活支援を受けることができます。また家族の支援も重要です。

図「利用届出書は川崎市のホームページからダウンロードしてください。」

ケースステップを導入する際は利用届の提出にご協力ください。費用などは掛かりません。